

授業概要

インターンシップIは1, 2年次または3年次にインターンシップ等を体験しようとする学生のための授業である。ただし、授業でインターンシップ等の実習そのものを体験するのではなく、インターンシップ等の体験者である先輩や内定者である先輩、また企業で働いている社会人（企業人）とのコミュニケーションを通じ、また自己分析を深めるなどの就職に対する意識を高めることを目的とした指導を行う。

授業計画

第1回	事前ガイダンス（インターンシップIの進め方）とインターンシップ等の意義
第2回	グループワーク（自己紹介または担当教員等とのディスカッション）
第3回	先輩との交流会（3年次生のインターンシップ経験者との対話と質疑）
第4回	グループワーク（交流会の反省と課題のディスカッション）
第5回	インターンシップ等の情報探し
第6回	憧れた職業について考える
第7回	社会人との交流会（企業で働いている社会人（企業人）との対話と質疑）
第8回	論理的思考
第9回	働くこと・仕事の理解
第10回	適職を探すということ
第11回	自己分析をふかめる
第12回	「ガクチカ」について考える
第13回	労働法規・組織が求める人物像
第14回	グループワーク（企業調べに関するディスカッション）
第15回	総括～振り返り～
第16回	「インターンシップI 課題レポート」の提出

※ 内容は目安であり、受講人数やゲストとの調整などにより、適宜変更しながら進めます。

到達目標

- ・インターンシップ等に行くための様々な情報に触れることにより、就業意識を向上する。
- ・就職活動という目標に対して、大学1・2年次にすべきことを意識し、準備する。

履修上の注意

- ・授業の目的が他の講義と異なるため、第1回目の授業に必ず出席すること。**履修人数に上限があるため、第1回目の出席者の中からさらに人数を制限することがある。**
- ・秋期の定期試験後に何らかのイベントに参加する場合があります。その場合には、通常授業期間の授業への出席と課題提出に加えて、そのイベントへの出席と、事後指導の受講（含む、プレゼン）が単位取得の条件になる。
- ・授業の趣旨から**3年次生・卒業年次生および一般企業に就職を希望しない学生は、登録を遠慮すること。**
- ・授業ではグループワークを頻繁に行うため、積極的な発言が求められる。

予習・復習

- ・予習：新聞等で社会的な出来事に関する情報を入手する。
- ・復習：授業後に内容をレポートとしてまとめる。

評価方法

- ・受講姿勢と授業内レポートによる平常点50%と、定期試験に代わるレポート50%の配分を目安として総合的評価する。
- ・授業の性質上、遅刻、欠席、受講姿勢に対しては厳しく対応する。
詳しくは第1回目の授業でお話する。

テキスト

- ・特に使用しない。